



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月1日

上場会社名 株式会社サンリオ 上場取引所 東
 コード番号 8136 URL <http://www.sanrio.co.jp/corporate/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 信太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 江森 進 (TEL) 03-3779-8058
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,437	△10.5	1,279	△37.0	1,320	△25.9	1,014	△18.4
29年3月期第1四半期	15,010	△12.0	2,029	△41.5	1,781	△50.8	1,243	△55.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 861百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △1,560百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.96	—
29年3月期第1四半期	14.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	99,606	50,526	50.5
29年3月期	101,312	53,058	52.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 50,320百万円 29年3月期 52,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,600	△2.7	4,100	5.5	4,300	15.3	2,900	△23.8	34.18
通期	65,700	4.8	10,800	56.4	11,200	54.4	7,800	20.4	91.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	89,065,301株	29年3月期	89,065,301株
30年3月期1Q	4,218,248株	29年3月期	4,218,168株
30年3月期1Q	84,847,093株	29年3月期1Q	84,847,241株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（海外：2017年1月1日～2017年3月31日、国内：2017年4月1日～2017年6月30日）における売上高は、欧米両地域での商品ライセンス収入の減少に加え円高による為替の換算の影響により減収減益となりました。売上高は134億円（前年同期比10.5%減）、営業利益は12億円（同37.0%減）、経常利益は13億円（同25.9%減）でした。特別利益に投資有価証券売却益1億円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億円（同18.4%減）となりました。

なお、すべての海外連結子会社の決算期は1月～12月であり、当第1四半期連結累計期間の対象期間は、2017年1月～3月であります。

〔報告セグメント〕

(単位：億円)

		売上高				セグメント利益（営業利益）			
		前第1 四半期	当第1 四半期	増減	増減率	前第1 四半期	当第1 四半期	増減	増減率
日本	物販その他	79	76	△3	△4.0%	14	10	△4	△31.6%
	ロイヤリティ	23	22	△1	△4.6%				
	計	102	98	△4	△4.1%				
欧州	物販その他	0	0	0	71.8%	1	0	△1	△85.1%
	ロイヤリティ	9	6	△3	△34.3%				
	計	9	6	△3	△34.1%				
北米	物販その他	2	2	△0	△15.9%	△0	△1	△1	—
	ロイヤリティ	8	4	△4	△48.6%				
	計	11	6	△4	△40.8%				
南米	物販その他	0	0	0	94.5%	0	0	△0	△39.7%
	ロイヤリティ	2	2	0	3.0%				
	計	2	2	0	3.1%				
アジア	物販その他	4	1	△2	△64.6%	7	7	△0	△2.0%
	ロイヤリティ	19	18	△0	△3.8%				
	計	23	20	△3	△15.1%				
調整額		—	—	—	—	△4	△4	0	—
連結	物販その他	86	80	△6	△7.5%	20	12	△7	△37.0%
	ロイヤリティ	63	54	△9	△14.6%				
	計	150	134	△15	△10.5%				

(注) 海外地域の子会社は、ロイヤリティ収入に対して相応の額を売上原価として著作権所有者である日本の親会社に支払っており、それを親会社は売上高として計上しておりますが、連結消去されるため上表の日本の売上高にはその相当額は含まれておりません。セグメント利益（営業利益）には反映されております。

なお、ここに示す売上高は、外部顧客に対する売上高であり、前述のロイヤリティに限らず報告セグメント間売上高は内部取引高として消去しております。

① 日本：売上高98億円（前年同期比4.1%減）、営業利益10億円（同31.6%減）

国内物販事業は、全体的な節約志向が続く中、購買客数の減少が響き苦戦を強いられた状況でした。海外観光客については、客数、購買額は前年を超え回復基調にあります。その中で、今年15周年を迎えた『シナモロール』が第32回サンリオキャラクター大賞の1位に輝く等人気を博しました。また、1970年代、1980年代に活躍したキャラクターの再登場が若年層に好評に受け入れられました。そのような状況で既存店売上（直営店及び百貨店の当社直営店ショップベース）は、前年同期比97.0%でした。また、国内5店舗目となるアウトレット店をりんくうプレミアム・アウトレットに6月開店し好調に推移しております。7月からの夏休みに向け店頭でのイベントや、今春よりスタートしたサンリオショップ公式アプリ「サンリオ・パスポート」の拡散等、集客に向けた戦略を進めると共に、トラックカフェの運営

も開始し、話題づくりによる集客増と販売増に努めてまいります。

国内ライセンス事業は、コスメ・化粧品、薬事関係の好調に加え、衣料関係が昨年より回復した一方、文具関係は不調でした。株式会社ユニクロとのアパレルとノベルティ、フマキラー株式会社の虫除け商品、株式会社ディーエイチシーや株式会社明色化粧品の化粧品、レック株式会社の家庭雑貨用品が堅調に推移しました。キャラクターでは『I'm Doraemon』が好評で収益に貢献しました。その結果、国内ライセンス事業は売上高、営業利益ともに昨年並みの状況を確保しました。

テーマパーク事業は、大分県のハーモニーランドでは、昨年の4月14日に発生した熊本地震の影響から大きく回復し、入園者数は83千人（前年同期比55.1%増）と前年同期比29千人増加しました。主に、県外からのお客様や国内外の団体客が好調でした。海外団体では台湾からのチャーター便利用のツアー企画、企業の宣伝プロモーションでのツアー企画、加えてキャンペーン企画の効果により、来場者を大きく伸ばしました。その結果、売上高に連動した販売促進費やアトラクションのメンテナンス費用が増加しましたが、売上高も入園者数の増加によりチケット売上が増加、また商品、飲食の単価も増加したことから大幅に営業損失は改善しました。夏休み期間に向け、涼感を伴うショーやプールエリアの集客強化とナイトショーのリニューアルによる夜間集客に注力し、入園者数の増加に取り組んでまいります。

東京多摩市のサンリオピューロランドは、前期2月スタートのシナモロール15周年記念イベント「ふわもこタウン」がサンリオピューロランド限定キャラクター『品川紋次郎』たちの登場もあり集客を伸ばしております。また、企業の福利厚生やタイアップイベントの利用が前年同期比7%増加しました。その結果、入園者数は前年同期比24千人増加の260千人（前年同期比10.2%増）でした。入園者増により、チケット売上、商品売上、レストラン売上のすべてが前年に比べ増加しました。さらに、イベントや対企業関連の売上は大幅に増加しました。営業損益は、売上増による増益に対し、イベント関連経費、レストラン運営委託費、Webサイトリニューアル費用、SNSサイト広告宣伝費、パレードの減価償却費等の発生があり若干の増益となりました。

その結果、国内テーマパーク事業全体では、売上高は16億円（前年同期比11.9%増）、営業損失は1億円（同70百万円改善）でした。

② 欧州：売上高6億円（前年同期比34.1%減）、営業利益23百万円（同85.1%減）

欧州は、主要地域であるEU圏での消費環境が引き続き厳しい状況となり、メディアによるエンターテインメントキャラクターとの競合も激しく減収減益となりました。主力のアパレル・アクセサリー、玩具・スポーツ、家庭用品が苦戦しましたが、コスメ・化粧品、文具は健闘しました。そのような状況で、欧州における営業の強化としてライセンス業界に精通した現地COOを採用しました。新COOの下で、課題であるキャラクターの多様性確保や、キャラクターカフェ、企業の販促にキャラクターをライセンスする広告化権ライセンス（企業プロモーションライセンス）によるキャラクター露出を広げ、ライセンシーとの戦略会議を欧州拠点で開催し、『ぐでたま』『ミスターメン リトルミス』を含めたキャラクターの多様化やブランド強化の戦略を共有し、年内の底打ちを目指してまいります。

③ 北米：売上高6億円（前年同期比40.8%減）、営業損失1億円（同1億円損失増）

米国では、映画発のエンターテインメントキャラクター商品との競争激化や小売業界の構造変化により『ハローキティ』のライセンス商品の陳列スペースが減少し減収減益となりました。アパレル、玩具・スポーツ、靴は低迷しましたが、企業特注、キャラクターカフェ等が健闘しました。北米の小売業における流通の変化であるDTR(Direct to Retailer)化や、マスリテイラーが商品供給先をライセンシーから自社OEMに転換する流れに対応し、対DTRの強化と専門店（スペシャリティショップ）への営業強化に努めてまいります。組織の変更と人員の再配置、新規採用により今期中での下げ止まりを目指してまいります。

④ 南米：売上高2億円（前年同期比3.1%増）、営業利益46百万円（同39.7%減）

南米地域は、メキシコ、アルゼンチン両国でのアパレルが不調でしたが、ブラジル、ペルーが好調で増収となりました。しかしながら、代理店への手数料が増加し減益となりました。カテゴリーでは、ア

パレル・アクセサリー、文具が減少した一方で、ベビー、食品、出版・映像が好調でした。YouTubeのキャラクターチャンネルやコミックコンベンションへの出店、代理店と共同でライセンスカンファレンスの開催等で、サンリオキャラクターの認知を向上させ収益の拡大を目指します。

⑤ アジア：売上高20億円（前年同期比15.1%減）、営業利益7億円（同2.0%減）

香港・東南アジアでは、昨年来の香港経済の低迷が継続し、前期好調だったマレーシア、シンガポールでの企業特販が苦戦する一方で、タイの大手コンビニエンスストアでの広告化権ライセンスが好調に推移しました。

台湾では、Eコマース（越境EC）と既存小売店との競合が小売店の消費に影響し減収減益となりました。アパレルにおいても子供服ライセンス契約の終了等で減少しましたが、靴、バッグ等のカテゴリーは好調に推移しました。今期は、他社キャラクターとのコラボレーションや『アグレッシブ烈子』『サンリオ男子』等、新分野のキャラクターに注力します。

韓国では、台湾同様に、Eコマースの伸長による既存小売市場との競合により小売店の売上が減少となりました。販管費は外部への支払手数料が削減され、営業利益は昨年並みとなりました。カテゴリーではコスメ・化粧品が引き続き好調に推移し、家庭用品、企業特販も伸長しました。

中国では、宝石・金業界の低迷によりアクセサリー関連が減少しましたが、コスメ・化粧品が約5倍、ベビー関連が2倍と高い成長を続けております。キャラクターでは、『ハローキティ』に加え『パッドばつ丸』『マイメロディ』が貢献しました。その結果、売上高は横ばいですが2桁の増益となりました。また、中国本土での商標登録の獲得により追加契約された『ぐでたま』は、今後の貢献が期待されます。

参考：海外子会社 売上高・営業利益（現地通貨ベース：連結消去前個別財務諸表数値）

	売上高			営業利益
	ロイヤリティ	物販	計	
ドイツ 千EUR	4,089	31	4,120	92
(前年同期比増減%)	△35.6	112.1	△35.2	△92.0
英国 千GBP	1,406	96	1,503	286
(前年同期比増減%)	△14.0	235.1	△9.7	183.8
北米 千USD	4,014	2,060	6,074	△1,353
(前年同期比増減%)	△47.1	△13.8	△39.1	—
ブラジル 千BRL	7,191	30	7,221	1,212
(前年同期比増減%)	△15.9	△52.8	△16.2	△54.8
チリ 千CLP	21,852	—	21,852	16,539
(前年同期比増減%)	—	—	—	—
香港 千HKD	33,776	11,044	44,820	14,750
(前年同期比増減%)	8.8	△41.9	△10.4	△7.0
台湾 千NTD	94,946	7,686	102,633	34,934
(前年同期比増減%)	△12.3	△32.8	△14.3	△10.8
韓国 千KRW	2,371,008	158,121	2,529,130	661,838
(前年同期比増減%)	△7.9	△70.6	△18.7	△1.4
中国 千CNY	44,049	20,013	64,062	21,016
(前年同期比増減%)	12.1	△19.9	△0.3	12.1

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は996億円で前連結会計年度末比17億円減少しました。資産の部の主な減少項目は受取手形及び売掛金16億円です。

負債の部は490億円で8億円増加しました。主な増加項目は有利子負債（1年内償還予定社債を含む）13億円です。純資産の部につきましては、505億円と前連結会計年度末比で25億円減少しました。主な減少項目は、親会社株主に帰属する四半期純利益10億円の増加と配当金33億円の支払との差引による利益剰余金23億円です。自己資本比率は50.5%で前連結会計年度末比1.7ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、各地域で厳しい状況が続いておりますが、日本では、今年15周年を迎えた『シナモロール』、『I'm Doraemon』、70年代・80年代キャラクター等の活躍に加え、キャラクターの新たな活用提案を積極的に推進してまいります。また、欧米では、組織、人材の見直し、市場の変化に即した営業活動を進めてまいります。なお、中国市場では中華圏において人気の高い『ぐでたま』の商品ライセンスが始まります。

以上を勘案し、平成29年5月12日に公表しました第2四半期（累計）及び通期の業績予想については変更いたしません。

また、当期配当につきましては、期初発表どおり、第2四半期に40円、期末40円の年間80円の計画を継続します。

(参考) 海外地域別損益～第1四半期の3期推移

(単位:百万円)

地域		外部顧客に対する売上高					営業利益				
		H27/6	H28/6	増減率 (%)	H29/6	増減率 (%)	H27/6	H28/6	増減率 (%)	H29/6	増減率 (%)
北米	米国	1,625	1,165	△28.3	690	△40.8	280	△1	—	△153	—
南米	ブラジル・チリ	360	256	△28.7	264	3.1	108	77	△28.4	46	△39.7
アジア	香港	1,020	835	△18.2	689	△17.5	257	255	△0.8	238	△6.4
	台湾	439	397	△9.5	349	△12.1	153	139	△9.7	127	△8.3
	韓国	351	305	△13.2	248	△18.5	117	66	△43.5	65	△1.4
	中国	818	846	3.5	737	△12.9	357	334	△6.4	346	3.8
	小計	2,630	2,385	△9.3	2,025	△15.1	885	794	△10.2	778	△2.0
欧州	ドイツ	1,586	810	△48.9	496	△38.7	375	148	△60.3	11	△92.5
	英国	206	130	△36.6	123	△5.3	88	10	△88.7	12	25.5
	小計	1,793	941	△47.5	620	△34.1	463	158	△65.8	23	△85.1
合計		6,409	4,748	△25.9	3,600	△24.2	1,738	1,028	△40.8	694	△32.5

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,172	42,140
受取手形及び売掛金	7,698	6,054
商品及び製品	4,176	4,157
仕掛品	16	22
原材料及び貯蔵品	114	172
未収入金	1,442	842
その他	1,867	1,868
貸倒引当金	△192	△200
流動資産合計	56,295	55,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,692	6,545
土地	9,819	9,765
その他(純額)	2,027	2,003
有形固定資産合計	18,539	18,314
無形固定資産	4,715	4,595
投資その他の資産		
投資有価証券	12,135	12,228
繰延税金資産	3,619	3,417
その他	7,948	7,868
貸倒引当金	△1,991	△1,923
投資その他の資産合計	21,711	21,590
固定資産合計	44,967	44,499
繰延資産	49	48
資産合計	101,312	99,606
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,911	3,683
短期借入金	9,561	9,761
未払法人税等	919	717
賞与引当金	501	734
ポイント引当金	97	95
株主優待引当金	58	31
返品調整引当金	68	49
その他	9,706	11,296
流動負債合計	24,824	26,369
固定負債		
社債	5,170	3,836
長期借入金	5,085	6,048
退職給付に係る負債	9,844	9,498
その他	3,330	3,327
固定負債合計	23,429	22,710
負債合計	48,253	49,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	3,423	3,423
利益剰余金	55,638	53,259
自己株式	△11,789	△11,789
株主資本合計	57,272	54,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△106	376
繰延ヘッジ損益	△5	△5
為替換算調整勘定	△549	△1,347
退職給付に係る調整累計額	△3,756	△3,595
その他の包括利益累計額合計	△4,418	△4,573
非支配株主持分	204	205
純資産合計	53,058	50,526
負債純資産合計	101,312	99,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	15,010	13,437
売上原価	4,977	4,421
売上総利益	10,032	9,015
返品調整引当金戻入額	23	19
差引売上総利益	10,055	9,034
販売費及び一般管理費	8,025	7,755
営業利益	2,029	1,279
営業外収益		
受取利息	112	134
受取配当金	14	13
その他	90	55
営業外収益合計	217	203
営業外費用		
支払利息	51	43
為替差損	362	9
支払手数料	39	37
投資事業組合運用損	—	59
その他	12	11
営業外費用合計	465	162
経常利益	1,781	1,320
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	55	128
特別利益合計	55	128
特別損失		
固定資産処分損	10	9
減損損失	12	12
その他	6	—
特別損失合計	29	21
税金等調整前四半期純利益	1,806	1,426
法人税、住民税及び事業税	434	545
法人税等調整額	116	△142
法人税等合計	550	403
四半期純利益	1,255	1,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,243	1,014

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,255	1,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△722	482
繰延ヘッジ損益	△16	0
為替換算調整勘定	△2,297	△806
退職給付に係る調整額	219	160
その他の包括利益合計	△2,815	△162
四半期包括利益	△1,560	861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,561	859
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,261	941	1,165	256	2,385	15,010	—	15,010
(うちロイヤリティ売上高)	(2,326)	(938)	(887)	(256)	(1,940)	(6,350)	(—)	(6,350)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,683	17	2	1	368	2,074	△2,074	—
(うちロイヤリティ売上高)	(1,644)	(17)	(—)	(—)	(1)	(1,663)	(△1,663)	(—)
計	11,945	958	1,167	258	2,754	17,084	△2,074	15,010
セグメント利益又は損失(△)	1,476	158	△1	77	794	2,504	△475	2,029

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 △475百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,836	620	690	264	2,025	13,437	—	13,437
(うちロイヤリティ売上高)	(2,218)	(616)	(456)	(264)	(1,867)	(5,423)	(—)	(5,423)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,421	6	1	0	368	1,797	△1,797	—
(うちロイヤリティ売上高)	(1,380)	(6)	(—)	(—)	(0)	(1,387)	(△1,387)	(—)
計	11,258	627	691	265	2,393	15,234	△1,797	13,437
セグメント利益又は損失(△)	1,010	23	△153	46	778	1,705	△425	1,279

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 △425百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。